



1_ (左から) 高橋宣博町長、株式会社石巻青果菊池和彦代表取締役社長、佐藤邦雄伊達果実農業協同組合長 2_ 町長自ら来店者に町産桃のPRをしました 3_ 桃の試食も好評でした

本格的な桃シーズンの幕開けを前に、町と両農協が連携し、「献上桃の郷こおり」のさらなるブランド化に向けたトップセールスを実施しました。7月10日には、伊達果実農業協同組合の出荷先である石巻青果花き地方卸売市場を訪問。卸売業者や仲卸業者の方々に、日頃の感謝の気持ちを伝えるとともに、33年

連続で皇室献上の産地に選ばれている町産桃の品質の高さを改めてPRしました。その後、石巻市内のスーパーでは、町長自らが桃の特設コーナーに立ち、来店客に町産桃の魅力を直接紹介。開店前から桃を待つお客様の列ができ、「今年も楽しみにしていました」「昨年にも買いに来たよ」という声も。桑折町の桃を心

待ちにしてくださいと人々の多さを感じる一日となりました。さらに、同月17日には、JA桑折営農センターの主要出荷先であるいわき市中央卸売市場を訪れ、卸売業者と意見交換を実施。市内スーパーでは、町オリジナルの箱に詰めた桃を来店者にプレゼントするなど、桃の魅力を広く伝えました。

町産桃が消費者に大好評！ 石巻、いわきでトップセールス



1_ オープンを記念してのテープカット 2_ 壁面には記念撮影ができるフォトスポットも

JAふくしま未来桑折桃直売所のリニューアルオープンを記念したセレモニーが7月3日、同直売所で行われました。直売所は、桃の果実をイメージしたピンク色の壁と、葉っぱを表す緑色の屋根で構成。また、売り場面積が広くなり、夏場の暑さ対策や、購入手続きがよりスムーズになる

よう整備されました。セレモニーでは、JAふくしま未来の三津間一八代表理事組合長が「桑折の直売所は県内でも有数の直売所。ここから全国へ桑折の桃の魅力を発信していきたい」とあいさつ。高橋町長は「生産者とお客様が交流できる場所になってほしい」と期待を寄せました。

桃直売所がリニューアル 桃の魅力を発信する施設に